

物理探査データカタログのご紹介

○君野麻衣子・華房康憲・斎藤秀亮（海洋研究開発機構）

「物理探査データカタログ」とは、海洋研究開発機構（JAMSTEC）が所有する船舶（「なつしま」「かいよう」「かいいい」「よこすか」「みらい」）を用いて取得された地震探査データを中心とした総合的なデータ公開サイトである。本報告では、物理探査データカタログ公開のご報告をするとともに、今後の展望を記述する。

地球情報研究センター（DrC）では、JAMSTEC が保有するデータ・サンプルの利用促進と各研究分野の活性化に貢献することを目的とし、海洋に関する様々な分野のデータやサンプルの公開サイト、その検索システムの構築や管理運営を進めている。

しかし、現在に至るまでの間、物理探査により取得されたデータを公開するサイトは存在していない。その現状を受けて、物理探査データカタログの構築が昨年度より開始され、今年度、公開至った。このカタログは、以前より公開されているデータカタログ、文書カタログと同様に情報カタログ基盤システム上での構築であり、機能としては、海域、船舶、航海年などから目的のデータを絞り込めるツリー検索のほか、Google Earth を用いて測線を表示させる KML ファイルのダウンロード機能を兼ね備えており、機構が行ってきた物理探査のメタデータ情報やデータの所在などが掲載される。

物理探査データカタログでは、現在シングルチャンネル反射法（SCS）、マルチチャンネル反射法、OBS データの取扱いを予定しているが、将来的には、重磁力といったデータなど総合的な物理探査データの窓口となれることを目指したい。本カタログで公開されているデータは、各航海の首席研究者に提供されるのみでとどまっていたデータも多数存在していたことから、研究者をはじめとするより多くの方々にデータを公開することで、研究の活性化に貢献できると期待される。

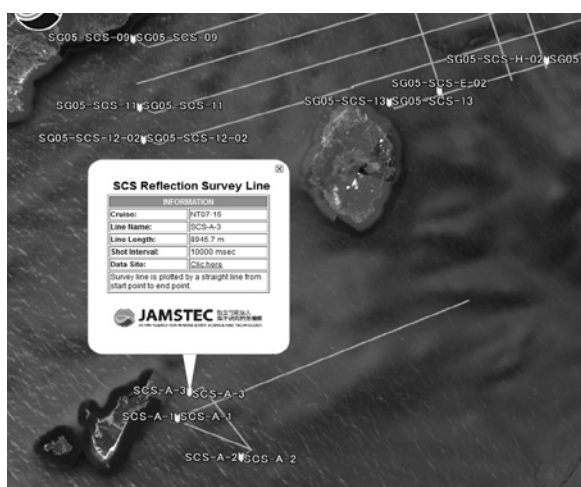


図1. Google Earthを使用した測線図



図2. 物理探査カタログデータ詳細ページ